

2023年9月22日

関係各位

会社名：三井物産株式会社
代表者名：代表取締役社長 堀 健一
(コード番号：8031)
本社所在地：東京都千代田区大手町
一丁目2番1号

台湾海龍洋上風力発電事業の最終投資決断の実行

三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：堀 健一、以下「三井物産」）は、台湾の海龍（ハイロン）洋上風力発電事業（以下「本事業」）につき、事業パートナーであるカナダの大手独立系発電事業者 Northland Power Inc.（以下「NPI」）と共に、プロジェクトファイナンスに係る契約発効を前提とした最終投資決断を本日より行いました。プロジェクトファイナンスに係る契約は各種先行要件の充足後、2023年内の発効を予定しています。

本事業は台湾彰化県沖 45～70km の洋上に大型風力タービン 73 基を建設し、2025 年末以降に順次、運営・売電を行うものです。発電所は HL2A（発電容量：294MW）、HL2B（同 224MW）、HL3（同 504MW）の 3 区画（同合計 1,022MW）で構成されており、HL2A は 20 年間の長期売電契約を通じて台湾電力に、HL2B 及び HL3 は 30 年間の長期売電契約を通じて台湾民間電力需要家に売電を行います。総事業費は約 9,600 億円となる見込みで、内、約 5,400 億円はプロジェクトファイナンスによる調達を予定しており、国際協力銀行及び日本貿易保険をはじめとする世界各国の輸出信用機関や金融機関が参画する予定です。当社による投融資保証額は約 2,600 億円を予定しています（投融資：約 1,700 億円、保証：約 900 億円）。

台湾は 2050 年までに温室効果ガス排出量のネットゼロを目指し、洋上風力発電設備 40～55GW の導入を目標としています。本事業はこの目標の達成に寄与すると共に、台湾の一般家庭 100 万世帯超の年間消費量に相当する電力を供給します。

三井物産は中期経営計画 2026 において、Global Energy Transition を攻め筋の一つとして定めています。再生可能エネルギーを由来とするクリーンな電力の供給により、事業を通じた脱炭素社会への移行を目指します。

尚、本件は 2023 年 5 月 2 日に公表した 2024 年 3 月期連結業績予想に含まれています。

本事業概要

建設場所	台湾彰化県沖 45-70km (水深 35-55m)
発電設備容量	1,022MW
設備内容	風力タービン 73 基、タービン基礎、洋上変電所、陸上変電所、送電ケーブル等
主要株主	NPI 社:60% 三井物産:40%
売電先	台湾電力、民間電力需要家
総事業費	約 9,600 億円
当社投融資保証額	約 2,600 億円
スケジュール	2025 年末：一部完工、2026 年末：全機完工

(2023 年 9 月 22 日時点)

以 上

本件に関する問合せ先: 三井物産(株)

IR 部 TEL: 03(3285)7657

広報部 TEL: 080(5912)0321

ご注意:

本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述は、現時点で当社が入手している情報を踏まえた仮定、予期及び見解に基づくものであり、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包するものです。かかるリスク、不確実性及びその他の要素によって、当社の実際の業績、財政状況またはキャッシュ・フローが、こうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。こうしたリスク、不確実性その他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。また、本発表資料は、上記事実の発表を目的として作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。